広島修道大学
ひろしま協創中学校・高等学校
学校改革の進捗状況

2022.9.21

＜学校改革の進捗状況＞

- 「少子化が進行していく中で、本校が継続して生徒を確保しつつ存続していくためには、教育に求められる時代の要請に適切に対応した協創教育について具体策を示し、生徒・保護者から選ばれる学校となるための学校改革が必要」との思いから、2020年11月に7つの具体策を柱とする「学校改革」に着手した。
- 以来、多くの方のご支援をいただきながら、学校改革の柱に沿って様々な取組に教職員とともにチャレンジしてきた。取組によって進捗に差はあるものの、学校改革を通して、本校の進むべき方向がこれまで以上に整理されつつある。
- 改革は緒に就いたばかりであるが、教職員一人一人が生き生きと教育活動に取り組める環境を整え、全ての生徒が協創の教育を理解し、「生徒主体」の教育を実感できる学校づくりに向けて改革を加速させていく。

学校改革の概要

- 1_協創教育コンセプトの具体的明示
- 2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定
- 3_教職員の働き方の見直し
- 4_部活動の見直し
- 5_学校行事の在り方の見直し
- 6_広報活動の在り方の見直し
- 7_人事評価制度の導入

1_協創教育コンセプトの具体的明示

- **協創ルーブリック（学校ルーブリック）の作成及び評価**

　⇒「4つの力育成」の具体的方策を明確にするとともに、到達度を評価するための「協創ルーブルック」を作成する。また、これを踏まえた教科別の具体策及び「教科別ルーブリック」を作成し、評価を試みる。

〔進捗状況〕

　1年間かけて「協創ルーブリック」を完成させるとともに、教科別のルーブリックも試作。2022年11月の「協創ルーブリック」を活用した公開研究授業の実施に向け、教員研修を継続中。さらに、ブラッシュアップを継続していくようにする。

☆　協創ルーブリック

☆　2022年度第3回教職員研修会　　☆　2022年度第2回教職員研修会

1_協創教育コンセプトの具体的明示

➢**GCP（グローバル・コンピテンス・プログラム）の導入・実施**

⇒GCPを本校の教育目標を達成するための教科横断型の特色ある教育活動と位置付けて実施する。2021年度は、英語科が主担当として実施し、2022年度以降は、各教科でできること（役割）を整理し、可能な教科から順次担当する。

〔進捗状況〕

中学1・2年生、高校1・2年生を対象として、週1時間、外国人講師によるオールイングリッシュでの授業を開始。中四国の学校では初の取り組み。

生徒一人一人が100年先の広島と世界を見つめ未来を創る人になるために本校が展開する「協創教育」の柱の一つとして、2022年度以降は「探究」を中心に教科横断型授業として実施。

中四国地方の学校で初の取り組みGCPとは

1_協創教育コンセプトの具体的明示

- **探究科において、4つの力の育成を意識したプログラムを開発**

  ⇒地域に密着した課題から生徒が4つの力（①探究型学力②協創する力③社会参画する力④自己実現する力）を意識して取り組むことができ、解決策を模索する中で、さらに深い根本的な問いを導き出すような思考（知識・理解思考→論理的思考→創造的思考）へと深化させながら実施できるプログラムを開発する。当面、探究科で実施する。

〔進捗状況〕

協創教育（「探究」・「GCP」・「国際理解教育」・「広島修道大学との連携」）の柱の一つと位置付けている「探究」について、カリキュラムの見直しを含め、抜本的な見直しに着手。

2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定

➢研修主任の配置

⇒新たに「研修主任」を配置し、研修の体系化及び具体的計画を策定

〔進捗状況〕

役職設置規程を改正し、2021年4月から新たに研修主任を設置。

本校の「目指す教師像」を実現するため、毎月第3水曜日を全教職員研修日と定め、当日は6時限授業とし研修時間を確保

第1回教員・職員合同研修（2022.5.19）　第2回教員・職員合同研修（2022.7.6）

2021年度の研修実績

2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定

- **日々の授業評価及び公開研修授業の実施**

  ⇒外部からの評価者を選定し、実施可能な教科から順次実施するとともに、成果の発表の場として公開研究授業を実施

  〔進捗状況〕

  県立広島大学門戸教授の御協力のもと、授業観察及び振り返りを実施。授業力向上を目指し、年間を通じて実施。また、2021年11月に「4つの力×ルーブリック」(「4つの力」を詳細化した評価項目を設定し作成された「ルーブリック」を意識した授業)をテーマとして公開研究授業を実施。

  2022年度も11月に同様の公開研究授業を実施予定

授業観察及び振り返り(2022.6.8)　　授業観察及び振り返り(2022.5.27)

授業観察及び振り返り(2021.10.29)　　授業観察及び振り返り(2021.7.13)

2021年度公開研究授業(2021.11.26)

- **生徒による授業評価の実施検討**

  ⇒目的を明確にし、生徒、教員双方が理解した上で実施

  〔進捗状況〕

  実施内容、時期について検討している。

3_教職員の働き方の見直し

教職員の働き方を見直す上で重要な勤務時間終了後から退校するまでの在校時間の縮減策を講じる。

- **一斉退校日の設定**

  当面、原則毎月第3水曜日とし、毎週水曜日の一斉退校を目指す。

〔進捗状況〕

毎月第3水曜日の午後を「校内研修日」と定め、研修終了後は一斉退校とした。
限られた時間内で効率よく業務を行うことをめざし、教職員の完全退校時刻を19時30分に設定

- **下校時間の見直し**

  18時30分完全下校を目指す。当面、2021年度は、夏期（4月～10月）19時、冬期（11月～3月）18時30分完全下校とする。（大会前など、やむを得ない場合は許可制とする。）

〔進捗状況〕

2021年11月から、生徒の完全下校時刻を年間を通して18時30分とした。
なお、生徒の「自走」を促すため、LRC及びスタディホールでの自学・自習は19時30分まで可とした。

- **時間外勤務の在り方の見直し**

〔進捗状況〕

労働基準監督署の指導を踏まえ、教職員が生き生きと活躍できる職場を目指し「ひろしま協創中高のこれからの新たな働き方」を策定し、これに基づき取組を開始。

4_部活動の見直し

- **部活動顧問希望アンケートの実施**
  〔進捗状況〕アンケートを実施し、教員の希望を踏まえ顧問を決定

- **一斉退校日の設定** ⇒当面、研修が行われる水曜日（原則第3水曜日）を一斉退校日となることに併せ、各部活動の休養日を水曜日に統一 するよう調整を行う。
  〔進捗状況〕平日1日の休養日を確保

- **土日部活動完全休養日の設定**
  ⇒土曜日及び日曜日のいずれかの一日、部活動を行わない日とする。（大会など、やむを得ない場合は許可制とする。）
  〔進捗状況〕 土日、いずれか1日は完全休養日として確保

- **特殊業務手当額の見直し**
  ⇒部活動指導業務のうち、生徒を引率して行う業務の手当額を引き上げるとともに、休日に行われる部活動指導業務に対する手当を新設する。
  〔進捗状況〕給与規程を改正し、休日に校内で行う部活動指導業務は2021年4月から、平日に校内で行う部活動指導業務は、2021年11月から手当を支給

5_学校行事の在り方の見直し

学校行事の見直しについては，WGでのまとめをもとに，改めて教育活動全体を見通し，各行事の意義付けを明確にしながら次のとおり実施する。

なお，各行事の実施に際しては，生徒の自主的，実践的な活動の場となるよう配慮するとともに，十分な準備期間を設ける。

〔1学期〕

・遠足（4月）・高校1年生遠足
・高校2年生遠足
・高校3年生遠足

・文化祭（6月） 運営は、生徒が中心となって行われた。
2022年度文化祭　　2021年度文化祭

〔2学期〕

・体育祭（10月） 10/6実施予定（グリーンアリーナ）

〔3学期〕

・クラスマッチ（1月）、協創コンテスト〔新設〕（3月）　協創コンテストとは，1年間の様々な学習活動の発表の場とし，個人，クラス，学年等の部門を設定する。生徒自治会が主導して開催し，優秀者（個人及び団体）を表彰する（協創賞を活用）カルタ大会は教科内で，弁論大会，合唱祭は実施する他の行事の中で代替する。

〔進捗状況〕 2022年2月4日、生徒が主体的に参加する協創コンテストを実施

協創コンテストの様子

6_広報活動の在り方の見直し

2021年度の広報活動は，企画広報部を中心に効率的・効果的な広報戦略を立て、全教職員で対応する。

①オープンスクール 〔進捗状況〕 予定通り日曜日に開催

本校の魅力を直接伝えられる場であり，前日の周到な準備に時間を要することから，日曜日の開催とする。

2022年度第1回中学校オープンスクール　HT2022年度高校プチオープンスクール

②地域相談会，トワイライト説明会，中学校，塾対象説明会

一定の参加者があることから需要はあるため継続して実施する。その際，企画広報部員だけに負担かかからないよう，全教職員で取り組む。トワイライト説明会は,個別ではなくミニ説明会的なものとする。

③小学校・中学校・塾訪問 〔進捗状況〕 訪問先について、見直し実施済

本校への入学者出身中学校や通塾の傾向を分析し、訪問する学校，塾を厳選する。（訪問しない中学校・塾を設定する。）

④新聞広告，駅看板，情報誌広告，ホームページ等の広告

原則として新聞広告，駅看板，情報誌広告は行わない。〔進捗状況〕 HP,SNSに特化した広報を実践

⑤その他

本校の情報をどこで，だれから入手しているかについて，オープンスクールなどを活用し，必ずアンケート調査を実施する。また，WGから提案のあったその他の活動については，新たな取組として実施する方向で検討する。

7_人事評価制度の導入

適正な評価に基づき教師力を高め，組織として教育力を最大化することを目的として，本校独自の人事評価制度を2021年度から導入する。

〔スケジュール〕

①現状把握・制度設計　4月～7月

管理職・教職員インタビュー、人材ビジョン作成（目指す学校像・求める教師像）
制度設計（ポリシー策定，キャリアパス設計，評価基準，評価ルール，評価帳票設計）

②導入準備　8月～9月

導入計画の策定（導入・運用スケジュール，役割分担と運用体制）
評価制度ハンドブック作成、評価制度説明会実施、評価者研修実施

③評価制度運用開始（試行）　10月～

随時，制度の見直し

④その他

給与への反映は行わない。（次のステップで検討）

7_人事評価制度の導入

適正な評価に基づき教師力を高め，組織として教育力を最大化することを目的として，本校独自の人事評価制度を2021年度から導入する。

〔進捗状況〕

コアネット教育研究所の協力のもと、2021年3月29日にキックオフ・ミーティングを開催して以降、校務運営会議の教職員18人で構成するプロジェクトチームによる11回の会合を経て2021年10月に「キャリアアップ・システム」が完成。事務職員版「キャリアアップ・システム」も2022年1月に完成。

完成したシステムに基づき、2022年6月に期初の面談を実施。年度当初に校長が示した事業計画を実行するため、各教職員が職位に基づく目標を立て、各々の取組を実行中

組織として教育力を最大限にするために（教員）　キャリアアップ・システム（教員）

車の両輪として（事務職員）　キャリアアップ・システム（事務職員）

ひろしま協創中高の「めざす教師像」

生徒の成長のために、共に学び続ける先生

協創力(認め合い　深め合い　高め合う力)

・利他の心
（多様性を認める、個性を伸ばす）
・コミュニケーション力
・地域とつながり協働する力

進路支援力

・生徒の適性を伸ばす
・的確な情報の提供
自己実現への支援

学習支援力

・幅広い教養
・高い専門性
・確かな授業力

人間力（高い使命感・高い倫理観・旺盛な向上心・謙虚な姿勢）

ひろしま協創中高の「めざす職員像」

生徒の成長のために、共に教育を創る職員

人間力（高い使命感・高い倫理観・旺盛な向上心・謙虚な姿勢）

校長メッセージ

～本校の誇る先生方へ～

「人生意気に感ず」

これは私の座右の銘であり、40年近くも大切にしてきた言葉です。

「人は利害や打算で行動するのではなく、相手の潔い心意気に感動して動くものだ」という意味です。これまであまたのご縁をいただき、あまたの方々に支えられて生きてきました。すべての方に心から感謝です。

こうして協創教職員のみなさまとご縁をいただいたことも同様です。

私たちは、教育者として目の前の生徒に「この人に出会えて良かった」と言われるような存在にならなくてはなりません。そのためには何が必要でしょうか。それは、「協創（認め合い、深め合い、高め合う）」するチームとして、教職員相互の支援によって成長していくことに尽きるのだろうと確信します。

そして、教職員の心意気によって生徒が感化され、成長を遂げていく、そんな学校となることを心から願っています。

校長　白岩博明